

第1回栗東市観光振興会議 会議録

- 日時： 令和5年7月10日（月） 午後1時30分～午後3時00分
- 場所： 栗東市危機管理センター2階 防災研修室
- 出席： <委員>
岡山光雄委員、田中由美委員、上野邦緒委員、林優里委員、濱田康之委員、
鶴田泰伸委員、高野秀樹委員、築地達郎委員、北川寛人委員
<オブザーバー・運営組織>
一般社団法人栗東市観光協会 山口事務局長
<事務局>
環境経済部 高田部長、商工観光労政課 川津課長、商工観光労政課観光係
事務局担当者

1. 開会

(商工観光労政課長)

2. 市民憲章の唱和

(商工観光労政課長)

3. あいさつ

上山副市長（省略）

4. 委員の委嘱および紹介

(商工観光労政課長)

委員に委嘱状を交付（省略）

受諾された委員の紹介（省略）

5. 会長・副会長の選任

(商工観光労政課長)

委員の互選により、会長に築地達郎委員、副会長に田中由美委員が選出された。

築地会長あいさつ（省略）

事務局より、本日の傍聴者は0名と報告された

案件審議に当たり、商工観光労政課長から築地会長に進行役が交代された。

6. 報告事項

- ① 今年度の取り組み方針に対する進捗状況について【資料1-1・1-2】

○事務局説明（省略）

会 長) それでは、審議に入る。報告内容について質問、意見等はあるか。
特に、無いようなので了承して、報告いただいた状況を踏まえて今年度の事業計画の審議に入る。

7、審議事項

① 今年度の事業計画について【資料 2-1・2-2】

○資料 2-1 について事務局説明（省略）

会 長) 時系列的に報告のあった事業計画について質問等はあるか。事業計画についてこの会議で承認する手続きとなるが意見はあるか。私から質問するが、先ほど報告のあった資料 1・取り組み方針の進捗状況の構成・体系に沿って事業計画を説明いただきたい。

事 務 局) 例えば、9月に実施予定の旧和中散本舗の特別公開は観光振興ビジョン基本戦略 2 の戦略的マーケティングの立案と実施、地域経済活性化・観光関連消費の喚起にあたる。

会 長) 継続実施の施策ではなく、観光関連消費や産業の創出で、昨年新規に実施した旅行会社と連携した滞在プランは7月以降どう展開していくのか。

事 務 局) その施策ではインバウンドのモニターツアーを10月に計画している。交通の要衝である栗東として新たに産業観光も手掛けていく。

委 員) 会長のご指摘のように、観光振興ビジョンに基づいて確認していききたいので、ビジョンの体系に沿って計画も整理してもらいたい。

事 務 局) 次回までに観光振興ビジョンと関連性がわかるように整理する。

委 員) 産業観光の各企業への依頼状況はどうなっているのか。

事 務 局) 資料 2-2 に記載の通り、これからアプローチをかけるところである。

委 員) 秋に滋賀県全域の安全運転管理者協会役員に向けての研修があり、栗

東や草津の観光の事も分かってもらえたらと考えている。一概に観光についてというわけではなく、企業向けの安全管理、危機管理についてといったことの研修でもあるが、一つのモデルケースとしてそういった場も使っていただけたらと思う。

事務局) ぜひまたご相談させていただきたい。

会長) 今いただいた案件が、いわゆる MICE というもので大きな会議や研修を誘致するものであるが、栗東市で開催するとなると「さきら」を利用することになるのか。

委員) それほどの規模ではない。県全体でも 40 名ほどしか集まらない。

会長) 他に何かあるか。無いようなので、事業計画については時系列的に総枠として承認することとする。次に資料 2-2 の観光ニーズ調査について事務局から説明ください。

○資料 2-2 について事務局説明（省略）

会長) 観光客へのニーズ調査と観光関連産業調査を予定されているが、調査目的で調査箇所を変えているがなぜか。

事務局) 調査箇所で前回場所が近いところがあり、拡げたいと考えている。

委員) 下段の記載だと手原駅と観光案内所とかぶっているところがある。考慮されたい。

委員) 金勝地区に偏っているのでは。例えば大宝学区の大宝神社も集客している。

事務局) 大宝神社は頻繁に市民向けに情報発信をされており、検討したい。

会長) ここで決めなくてよいので、調査会社と検討されたい。実際の調査は対面でヒアリングするのか。

事務局) 対面を考えているが、嫌がられる方もおり、QR コード活用の Web 調査

も検討する。

会 長) 調査は誰がやる予定か。

事 務 局) 市の規定により入札となる。

会 長) 調査項目の作り込みについて観光協会は関わるのか。

事 務 局) 共有するが、市で進めていく。最終的にたたき台ができた段階で協議する。

会 長) 規約上は、観光協会は観光振興ビジョンの事業推進主体ということか。事業の委託関係か。

事 務 局) 協力関係である。

委 員) 調査地点でいえば、宿泊者への調査も必要ではないか。例えば、ルートインホテルはビジネス利用だけでなく、観光利用者もあるので、日帰り利用者の場所だけでなく検討してはどうか。

会 長) 調査地点は今あった意見を踏まえて検討していただく。従って資料2-2の前回調査との変更点の調査地点についての下り4行と表を削除して承認する。裏面の観光関連産業実態調査のところで意見はないか。

委 員) 調査期間が長くないか。その理由は何か

事 務 局) 回収が早く終わればよいが、分析の時間も取っている。

会 長) 委託期間ということか。決算期の考慮なら直近の決算期でよいのでは。

委 員) 調査期間が長いと回答が返ってこないので注意が必要である。

会 長) 回答の対象を商工会会員に限るのはどうか。会員でない会社も含めるべきと思うので、アンケート配布先の表現に商工会会員を中心とした企業としたらどうか。

事務局) そのように修正する。

会長) この項目について会長として、調査会社の決定後、理論、仮説に基づいてアドバイスする。資料記載の通り観光ニーズ調査をやるということで承認する。これで協議事項の事業計画は一部修正して承認された。

②今年度のスケジュールについて【資料3】

○事務局説明（省略）

会長) 来年度末に観光振興ビジョンの期限が切れるため、今年度に観光ニーズ調査を終えて次期ビジョンを決め込んでいくということか。

事務局) 補足すると、本年度は観光振興会議を3回開催する。次に今年度に行う観光ニーズ調査の内容結果を踏まえて、来期予算の策定もあり、10月上旬できれば4日（水）の開催を計画している。

委員) 10月4日（水）開催は決定事項か。水曜日は出席できない。

事務局) 10月4日は提案です。お諮りしているところである。

会長) この（4日）前後で日程を詰めてください。

委員) 議会、予算の関係で10月第1週ということか。

事務局) 市の予算の各部署の策定が10月中旬から下旬に行われ、以後取りまとめ部署の財政との折衝となる。中旬までに振興会議皆様のご意見をいただき、反映させていきたいため、窮屈な日程となった。

委員) 何を反映させるのか。資料によれば、ニーズ調査と事業の進捗状況ということか。内容がどこの会社に委託しましたとかの進捗であれば、議会や予算に縛られることなく開催しても良いのでは。会議でそこまでの議論にならないのであればと10月上旬でなくてもよいと思う。

会長) 産業観光の立ち上げが大きなテーマであり、そのためのニーズ調査を行う。その調査を踏まえて予算を取って新しい施策を打ち出す必要があると理解している。商工予算、観光予算、労政予算とそれぞれ別個

に動いているので、組み合わせる必要があれば新たな予算措置が必要となる。そうした議論をこの場でしなくてはならない。その意味で10月上旬という時期が出てくると考える。

委 員) その意味なら理解する。

会 長) 会議の中身としては、手続きというより調査の中間報告という内容となり、議論する会議となる。令和6年度で今のビジョンが終わるので、令和7年度からの5か年計画、第2期観光振興ビジョンの策定の議論になる。今年度はその下地作りをしていくということだ。そして令和6年度にビジョンを作り上げるので、予算措置が必要となる。

事 務 局) 次回には、栗東市観光振興ビジョンに沿って次年度にどのような計画が必要か予算にも反映させていきたいと考える。本年度の本市の計画に皆様の意見を反映できなかったと自分自身の反省点もあり、次回以降会議でアイデアやご意見を頂戴したいと思う。

会 長) 10月上旬会議で議論すべき中身の作り込みに皆様の意見を反映させていくので協力いただきたい。

委 員) 市長の肝いりで進んでいるホースパーク構想の現状はどうか、今年度はその内容が見えてくるはずで、早めに観光振興ビジョンや観光計画の予算に取り込むことも必要となると思う。次回会議に資料なり、構想の進捗状況をお話しいただければと思う。観光振興会議としての意見も言える。

事 務 局) 市長も馬は栗東の強みと考えており、ホースパークについては、次回の会議で情報提供できることがあれば、報告させていただく。

会 長) 行政トップの市長の考えも知れたらと思う。それでは、スケジュールについては、資料記載の時期に会議開催ということで承認する。

会 長) 審議事項は以上で終了とする。その他、協議事項はあるか。なければ会議は終了して、進行を事務局にお返りする

8. 閉会

(田中副会長)